

分 類：基礎医学アドバンストコース

授 業 科 目 名：病理学 I（Exercise for pathological analysis） - 症例検討実習 -

対 象 学 年：2 年次 選択

時間割コード：71564006

開 設 学 期 等：第 30 週 ～ 第 32 週

単 位 数：1

1. 主任教員

大森泰文（教授、分子病態学・腫瘍病態学講座、6059）

2. 担当教員

大森泰文（教授、分子病態学・腫瘍病態学講座、6059）

鈴木麻弥（助教、分子病態学・腫瘍病態学講座、6060）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

さまざまな疾患で死亡し病理解剖に付された症例について、臨床症状・経過と臓器病変との相関、治療効果、病態と最終死因の考えについて学ぶ。

- 1) 症例の臨床症状と臨床経過について整理して説明することができる。1-1), 2-4)5), 3-1)2)3), 4-1), 5-1)2)3)
- 2) 臨床検査項目とそのデータの意味についてある程度、説明することができる。1-1), 2-4)5), 3-1)2)3), 4-1), 5-1)2)3)
- 3) 画像情報の意味についてある程度、説明することができる。1-1), 2-4)5), 3-1)2)3), 4-1), 5-1)2)3)
- 4) 各臓器の肉眼および組織学的病変について説明することができる。1-1), 2-4)5), 3-1)2)3), 4-1), 5-1)2)3)
- 5) 病理組織学的に腫瘍細胞を同定でき、浸潤や転移を説明することができる。1-1), 2-4)5), 3-1)2)3), 4-1), 5-1)2)3)
- 6) 患者さんの病態と治療効果について説明することができる。1-1), 2-4)5), 3-1)2)3), 4-1), 5-1)2)3)
- 7) 患者さんの最終死因について説明することができる。1-1), 2-4)5), 3-1)2)3), 4-1), 5-1)2)3)

4. 教科書・参考書

“ 原因と病態 ” に準ずる。

5. 成績評価の方法

グループ発表、レポート、出席

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

初日は 8 時 50 分に第 2 講義室に集合すること。

積極的に授業に参加し、問題解決を図るよう心掛けること。そのために、授業内容についての予習や復習を行うこと。

受け入れ予定学生数：第 30 週・第 32 週とも 32 名程度

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	11月25日 (火)	1-10 時限	実習	テーマ：臨床推論 1) 患者に生じた健康問題を明らかにし、対応を意思決定するために、問題点を予測し、論じることができる。 2) 検査の方法と臨床推論における適応、意義、検査結果の解釈を説明できる。	大森泰文 鈴木麻弥	基礎棟第2講義室、5A 実習室
2	11月26日 (水)	1-10 時限	実習	テーマ：マクロ説明及びミクロ観察 1) 臨床診断に必須の病理診断、細胞診の目的、方法、意義を理解する。 2) 自分の力で課題を発見し、自己学習によってそれを解決するための能力を獲得する。	大森泰文 鈴木麻弥	基礎棟第2講義室、5A 実習室
3	11月27日 (木)	1-10 時限	実習	テーマ：スライド及び原稿作成 1) 臨床診断に必須の病理診断、細胞診の目的、方法、意義を理解する。 2) 自分の力で課題を発見し、自己学習によってそれを解決するための能力を獲得する。	大森泰文 鈴木麻弥	基礎棟第2講義室、5A 実習室
4	11月28日 (金)	1-10 時限	形成評価	テーマ：症例発表 1) 自分の力で課題を発見し、自己学習によってそれを解決するための能力を獲得する。 2) 医療チームの構成員として、相互の尊重のもとに適切な行動をとるとともに、後輩らに対する指導を行う。	大森泰文 鈴木麻弥	基礎棟第2講義室、5A 実習室
5	12月8日 (月)	1-10 時限	形成評価	テーマ：臨床推論 1) 患者に生じた健康問題を明らかにし、対応を意思決定するために、問題点を予測し、論じることができる。 2) 検査の方法と臨床推論における適応、意義、検査結果の解釈を説明できる。	大森泰文 鈴木麻弥	基礎棟第2講義室、5A 実習室
6	12月9日 (火)	1-10 時限	実習	テーマ：マクロ説明及びミクロ観察 1) 臨床診断に必須の病理診断、細胞診の目的、方法、意義を理解する。 2) 自分の力で課題を発見し、自己学習によってそれを解決するための能力を獲得する。	大森泰文 鈴木麻弥	基礎棟第2講義室、5A 実習室
7	12月10日 (水)	1-10 時限	実習	テーマ：ミクロ観察 1) 臨床診断に必須の病理診断、細胞診の目的、方法、意義を理解する。 2) 自分の力で課題を発見し、自己学習によってそれを解決するための能力を獲得する。	大森泰文 鈴木麻弥	基礎棟第2講義室、5A 実習室
8	12月11日 (木)	1-10 時限	実習	テーマ：スライド及び原稿作成 1) 臨床診断に必須の病理診断、細胞診の目的、方法、意義を理解する。 2) 自分の力で課題を発見し、自己学習によってそれを解決するための能力を獲得する。	大森泰文 鈴木麻弥	基礎棟第2講義室、5A 実習室
9	12月12日 (金)	1-10 時限	実習	テーマ：症例発表 1) 自分の力で課題を発見し、自己学習によってそれを解決するための能力を獲得する。 2) 医療チームの構成員として、相互の尊重のもとに適切な行動をとるとともに、後輩らに対する指導を行う。	大森泰文 鈴木麻弥	基礎棟第2講義室、5A 実習室